

日本アフリカ学会第52回学術大会 Japan Association for African Studies

公開講演会

アフリカの自然と人の共生をめざして

主催 / アフリカ学会第52回学術大会実行委員会

共催 / 京都大学霊長類研究所、公益財団法人日本モンキーセンター 後援 / 犬山市、犬山市教育委員会

参加費無料
事前申込不要

2015/05/24 (日) 13:10-16:30 (12:50 開場)

会場 愛知県犬山市

犬山国際観光センター・フロイデ

雄大なサバンナのキリンやシマウマ、深い熱帯雨林のゴリラやチンパンジー... わたしたちは、アフリカに対して動物たちの楽園という明るいイメージを抱くと同時に、貧困や紛争、さらには昨年のエボラ出血熱の流行といった極端に暗い印象も持っています。

しかしこれらは別々の世界のことでありません。

アフリカの農村に出かけてみると、多くの場所ではさまざまな政治的・経済的な困難に直面しながらも、地域の自然の恵みを活かした穏やかな生活が営まれています。アフリカを理解するには、人と自然がともにあるということからまず理解しないといけないのではないのでしょうか。政治・経済学から医学、生物学に至るさまざまな角度から、アフリカにおける自然と人との共生への道を探ってみたいと思います。

講演者 司会進行 古市剛史 (京都大学霊長類研究所)

湯本貴和「アフリカの森と人々：非木材資源の可能性をさぐる」(京都大学霊長類研究所)

竹ノ下祐二「ともに生きる：野生大型類人猿の研究と保護」(中部学院大学教育学部)

佐久間寛「何が自然で誰が人か：ニジェール西部におけるカバと漁業民の関係から」(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所)

安田章人「護るために殺す？アフリカにおけるスポーツハンティングと地域社会」(九州大学基幹教育院)

門司和彦・北潔「アフリカの感染症と生活：今回のエボラ出血熱流行をどう考えるか」(長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科)

武内進一「政治経済の視点から自然と人の共生を考える」(日本貿易振興機構アジア経済研究所)



お問合せ

〒484-8506 愛知県犬山市官林 41-2 京都大学霊長類研究所内 日本アフリカ学会第52回学術大会事務局

<http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/jaas2015/index.html> TEL 0568-63-0278 E-mail jaas2015@pri.kyoto-u.ac.jp